



協働事業関係課との連携内容

Instagram



提案団体が担う役割

- ① 「居場所づくり」
- ② 「傾聴」
- ③ 「軽食提供」
- ④ 「賛助金集め」
- ⑤ 「ノートの作成or購入」
- ⑥ 「アンケート調査」
- ⑦ 「お金の勉強」
- ⑧ 「相談先の情報提供」
- ⑨ 「ポスターチラシ作成」
- ⑩ 「公式LINE作成」

市が担う役割

- ① 「事業の周知」
- ② 「会場の借り上げ」
- ③ 「イベントに対する助言」





初開催

No.1

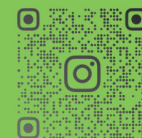
8月28日

こどもcafe
の

こどもたちの感想

成果及び効果

Instagram



中学生3名
小学生4名

合計7名の方が
遊びにきてくれました

こどもたちからの声

不満はない

みんなで自然に話せた
すぐに話せた

小学生や2才の子との
交わりは楽しかった

2才の子はとっても
可愛かった

好きなときに来て
言いたいことことを
話せるような場所

気軽に来れる場所が
土日もあったら嬉しい

心温まる感想♡
そして素直に
考え・気持ちを伝えてくれることが
本当に嬉しいです

それが
ご縁のおうちのスタッフの
励みになっています

ありがとうございます



関わりやすかった

スタッフさんは
人柄が良くて
あんまり緊張しなかった

お菓子は
自由に食べたいに
食べられるが
良かった

ご飯の時間は
みんなで一緒に
食べたい

小説が好き
本がたくさん
置いてあるといいな

毎日開催していると
特別感がなくなる感じ
がする

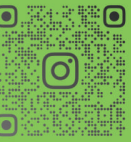
1人になれる
空間があると
もっと嬉しい

勉強ができたり
相談できたりする空間
があるといいな



成果及び効果

Instagram



時間を決めて
何かを一緒にやる時間も
あったらしい

スイッチで遊ぶ時は
みんなで遊べるソフトで
遊びたい

学校帰りの放課後に
息抜きに遊びにきた
小学生も1時間
エンジョイしていました

お友だちができて
うれしかった

色んな人が優しくかった

いつも本当に
楽しい！
みんな一歩でて
くれば、きっと
楽しさがわかる
はず

楽しかった

学校以外の子と
知り合うことができた

自分の地域じゃない
場所だからこそ
出て行ってみたい！
と思った

地域が違うし
はじめてだけど
みんな同じ感じだから、
自然と仲良くなれる

今回は、バス⇒八高線⇒
越生線⇒東上線⇒バス

と乗り継いで遊び
にきてくれた中学生がいて、
無事に会えたときはスタッフも
すごく嬉しかった！！です

2回目も来てくれた
中学生は
毎回、バスで来てくれて
本当に楽しいと言葉が
スタッフも嬉しいです

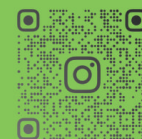
個室のスペースが
あって
本当によかった

話がしたい子と
ゆっくり話せる場所が
あるのはすごくいい



成果及び効果

Instagram



好きなときに来て
言いたいことことを
話せるような場所

気軽に来れる場所が
土日もあったら嬉しい

関わりやすかった

スタッフさんは
人柄が良くて
あんまり緊張しなかった

小学生や2才の子との
交わりは楽しかった

2才の子はとっても
可愛かった

委員さんのお一人sさんが
また遊びにきてくださりました



こうい多世代の居場所があると、
気分転換にもなるしいいよね！って
伝えてくれました

まいの

1人になれる
空間があると
もっと嬉しい

勉強ができたり
相談できたりする空間
があるといいな

こども達楽しそうに
ゲームをしているシーンや、
テーブルに囲ってお話ししてるシーンは、
私もとても嬉しく感じました

つい、1人でいる人に
声をかけちゃう私なのですが、
ほんといても（言葉悪い😅）いいくらいな、
こども達の仲の良さを感じました
初対面でも仲良くなれちゃう子
どものパワーは、凄いと思う判明、
中に入って行けない子もいる時は、私も声を
かけて、雰囲気作りをしたいなと思います。

まいの

夏休み中にお子さん連れで参加してくれたスタッフさんより

一人っ子で普段異年齢のお友だちと
関わるのが少なく
普段見ることない姿を知ることが
できてうれしかったです。
新しいお友だちもできて
帰宅後もうれしそうに話す姿を見て
私もとてもうれしかったです。
また、地域の方、
スタッフの皆さんとお話できて
心ぼかほかになりました
ありがとうございました🥰

陽子

この活動のスカウトした時に不安を感じていたスタッフより

子供カフェに参加できて、
実際に来てくれた
子供の意見を聞いたら
・楽しかった！
・また行きたい！
・土日もあったらいいな！
と、嬉しい意見しかありませんでした！
私自身もこのご縁のお家に
携わる事ができて、
温かい気持ちになれたり、
スタッフとの交流が癒しになってたりと、
相乗効果が高すぎるー！と思いました❤️

まゆみ



成果及び効果



ご飯の提供あったら
嬉しいけどなくても家から
持ってくればいい
ご飯の時間は
みんなで一緒に食べたい！
なぜなら、
自由だと食べないことがあるから。
集中すると忘れてしまったする



学校に行かない
選択をしている時
フリースクールを探していた。
川越だった。
だから、坂戸にその時
あったら嬉しかった



前はタイミングを
逃したけど
今度、居場所的な案内が
あったら
ママにいつて行こう！と
決めていたから
チラシもらって
ママに伝えた



- ①こどもたちやママさんたちの安心安全で心地の良い空間・居場所づくりができた
- ②学校へ行かない選択中のこどもたちの平日水曜日の気分転換と新しいご縁や繋がりが作れた
- ③@こどもCafe・@ママCafeが看板であったが、結果的に地域の高齢者さんが夏の暑い時期の休憩場所や心の相談なども受けたり、地域の高齢者の方や生きづらさがあり引きこもっていた方などこどもたちの多世代交流にもなってきた
- ④カードを用いることにより、自己表現しづらい方や初対面との交流がスムーズであった
- ⑤当初予定にはなかったが、坂戸高校科学部さんとのご縁が繋がり、科学にこどもたちがわくわくした好奇心が芽生えた

明治安田生命西坂戸営業所さまより
フードパントリーで集まったカレー
を頂きました



ありがとう
ございました

遊びに来てくれたこどもたちに
配布させていただきました

課題及び改善点

Instagram



①認知と集客



Instagram発信
各SNS発信



継続して毎回投稿していくことと投稿だけでなく「リール」作成や
発信の仕方を学び、継続していく



小・中学校で家庭数でのチラシ配布



夏休み直前に配布してもらう手配をした
一度のみならず、二度目の配布や時期を再検討したい



駅掲示板・市役所掲示板や図書館・スーパー・カフェなどに設置



時期がくると一度破棄されるところもあり
毎月継続して掲示にいくことが難しかった為、
毎月掲示にいくことを更に意識する必要がある



人伝え



確実性があった。ご縁からご縁と繋がっていくためお互いにとって安心感も感じられた
学校へ行っていないお子さんのご家庭へは人から人が効果的だと感じられた
「choice」への参加や「放課後等デイサービス」などへチラシをお願いしたが
「サークル活動」やもっと「広報」のために積極的に動く必要があると感じている



@ママCafe



@ママCafeへの参加者はご縁から参加してくださる方が多かったが、
もっと女性や（生きづらさがある）方が気軽に参加してもらえる必要がある



関係協働課



SNS広報や坂戸市のラインなどでの広報を依頼していなかったのが、
残り3回ではあるが協働課との連携を強くしていくことが必要である

課題及び改善点

Instagram



② スタッフの確保



各時間3名確保できない時もあった（最少人数2名）



現役ママたちで構成されているため
現役ママでないスタッフが必要である

e x : 学校に行かない選択中のこども
生きづらさが過去あった大人
先輩ママ
大学生など



今年度はボランティア活動であること



お金という対価を支払うことができない為、
ボランティアでは責任がないので、今後は
対価を発生させる必要があると考えている

③ スタッフの人材育成



学校の先生・看護師・介護士・
保育士・公認心理士さんなどの
スキルや資格があるスタッフもいたが、
スタッフ同士の
コミュニケーション不足や
指示伝達不足・確認不足・自覚の不足などもあった
（リアルで会えない為ラインでの伝達が主である）



なるべくみんな楽しく心地よい時間を
空間をイメージしながら、自主性をもって
活動して必要がある

課題及び改善点

Instagram



④距離（場所）

行かせたい・行ってみたいという声がある中
東坂戸団地まで遠いという声が聞かれた

低学年から中学年の小学生は一人では
参加できない距離にある

2025年度春以降は
場所を坂戸市千代田に移転予定

坂戸市役所から近く
仮に市内循環バスを使用する場合も
バス停も近く本数もある

⑤東坂戸団地周辺の人口が少子高齢化が顕著

開催期間中、何度も高齢の方々
（認知症の方や生きづらさがある方や大先輩
方など）が訪れ、対応している

そのような方々の居場所
（何をしてもない場所）
も必要だと考えられた

⑦繊細敏感なこどもと
元気あふれるこどもたちが
一つ同じ空間になってしまうこと

長い時間、エネルギーの違う者同士が
同じ空間にいと、繊細敏感な子供たちが
疲れてしまうこともあった

パーティションの設置や
部屋の間切りが必要
多様性を見ながら、個を守る
スペースづくりが必要である

課題及び改善点

Instagram



⑧持続可能な活動

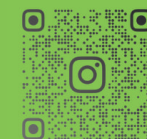
「こども」と「女性」が安心して輝け、自己表現でき、癒され、解放される場所。学校や家庭、職場ではない居場所が継続してあることが必要

月1ではなく「フリースchool的要素を兼ねた居場所Cafe」をなるべく毎日開く

それには資金が必要である
クラウドファンディングなどを立てたり
地元の企業さまなどのスポンサーになって
くださる方を募集するため、事業計画を
作成していく必要があると考えている
コミュニティーナースとして活動してきて、
坂戸の中心「千代田」にご縁のおうちを
機能させていくことが必要だと考えている

一人で全部やるのではなく、できないこと、
苦手なことは他者に甘え、委ねるための能力
が必要だと考える

決算書【見込み・12月末現在】

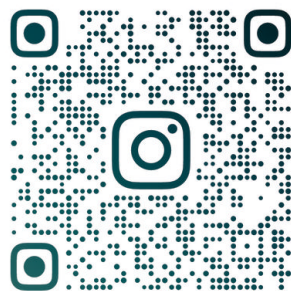


(収 入)		
区 分	予算額 (円)	説 明
補助金		坂戸市提案型協働事業補助金
自己負担金	9,000	協賛費1000×6・500×4
参加費	20,000	ママcafé開催500×40米粉マフィン300円 + お茶代200円1回開催10人想定×4
合 計	129,000	

(支出)			
需用費	13,840	A4チラシ7500枚	
需用費	1580	A3ポスター	12学校
報償費	6,000	託児への謝礼	
報償費	0	親子コンテンツ講師謝礼	
会場使用料	2900		
備品購入費	4,400	感情対話カード	
	1,849	ITOレインボー	
	1,445	自己紹介クイズ	
	2,750	トーキングゲーム	
保険料	5,000	イベント保険	
食材費	30088	こどもcafe時の軽食	
	7,752	ママcafe時の仕入れ	
雑費	12220	ノート作成と購入	
	19708	紙コップ・紙皿などの消耗品	
合計	109,532		

2024年（令和6年度）初めて「提案型協働事業」に取り組むことができたのは
多くの方のサポートのおかげです。本当にありがとうございました
右も左もよくわかっていない状況の中、丁寧な関わりをしてくださった
市民生活課の方々、市民生活に繋いでくださった大橋さん、一緒に活動してくれた仲間たち
学校の先生やキッズマネースクールを開催してくださった隼大さん、坂戸高校科学部のみなさま、URの皆様、
東坂戸団地の皆様、数えきれないほどの多くの方々のサポートがあって
実行することができました。本当にありがとうございました。
活動していく中で出会ったご縁に感謝とともに、また誰かのご縁に繋がっていくことが
楽しみです。

場所を千代田に移し
クラウドファンディングを立ち上げ
「ご縁のおうち」の機能を拡大させて
2025年度再始動させていく予定です
InstagramなどSNSを通し発表していく予定ですので
フォローやシェアをよろしくお願いいたします



知識や経験など足りない部分も多く
ご縁やお力を貸していただけると
とても嬉しいです。代表：平井ゆかり

